

2011年9月20日

各位

昭和電線ホールディングス株式会社
(コード番号 5805)

建築用免震デバイスの生産倍増

昭和電線デバイステクノロジー株式会社（取締役社長 岡本武雄、東京都港区）は、東日本大震災により、免震化率の伸長および復興需要の立ち上がりも見込まれることから、建築用免震デバイス 積層ゴムの増産投資を決定いたしました。2012年には現状の約2倍の製造体制を整え、免震需要の拡大に対応した供給責任を果たしてまいります。

国内では阪神大震災後、免震を採用した建物が増加しました。東日本大震災は、東北・関東の建物の多くが初めて経験したプレート境界型の大地震で、免震を採用した多くのビルでその効果が確認できました。今後も想定を上回る巨大地震の発生が危惧されており、人命は勿論、建物や財産の安全性を確保するため、免震工法の導入が求められるようになっていきます。

免震デバイスの生産は、現在、相模原事業所（神奈川県相模原市）で行っており、この度、同地区に10億円規模の設備投資を実施いたします。

【設備投資の概要】

投資額： 約10億円

《主な設備》積層ゴムの製造設備 他
金属加工設備、ゴム成型設備、
金型の大サイズ化、倉庫等

稼働時期： 2012年年初までに順次稼働

投資効果：

- 1) 積層ゴムの生産能力 **倍増**
- 2) 生産リードタイム **1/2短縮**
- 3) 品質管理体制の強化

売上目標： 2012年度50億円（前期比2.4倍）



免震システムの普及には、設計・施工体制、保守・デバイスや価格などまだ多くのハードルがあります。東日本大震災の体験を踏まえ、デバイスメーカーとして更なる改良・改善を図り、免震システム普及の一翼を担ってまいります。

本件に対するお問合せ先： 経営企画部 I R・広報グループ TEL 03-5532-1911

以上